

連載「解体修理に観る屋根瓦と建物の歴史」第1回

「第48回 建築士事務所全国大会（京都大会）」開催にむけて



撮影者 洛南支部 田中 義人

新年明けましておめでとうございます。

今回の写真は、護王神社の今年の奉納絵馬です。

今年は午年ですね。十二支の中では、「午」は動きのある活発なイメージを持つ干支としてしられ、行動力と社交性に富み人生を切り拓く傾向があり、周囲を明るい方向へ導く力がある一方で、熱意が空回りしたり、飽きっぽい面も有ります。

「午」という漢字は古代中国の甲骨文字や金文といった古い文字資料にその形跡が見られるそうです。古代において方位や時間を示す象形文字の一部として用いられていたようで、現在では、「馬」という字ですが干支の午は単に馬を意味するだけでなく、時刻や方角、季節や運勢を示す要素でもあったそうです。



## CONTENTS

【新年のごあいさつ】	.....	03・04・05
【連載】	「解体修理に観る屋根瓦と建物の歴史」第1回 金森 清正 .....	06・07
【レポート】	「第48回 建築士事務所全国大会（京都大会）」 開催にむけて 木下 一盛 .....	08
	第47回 建築士事務所全国大会（新潟大会） 堀井 里見 .....	09
	青年話創会2025新潟大会について 長西 朋宏 .....	10
	女性交流会2025新潟大会 岡本 順子 .....	11
	東洋シャッター奈良工場&法隆寺見学会 岩村 和男 .....	12
	令和7年度You・遊・ウォーキング 伊勢・四日市一泊旅行 一志 学 .....	13
	木と生きるという価値を社会に伝える活動 橋本 光生 .....	14
	未来の京都建築デザインコンペ2024 展示会を終えて 岡本 順子 .....	15
	木造住宅耐震診断の普及啓発について 富家 裕久 .....	16
	府民交流フェスタへの出展事業について 岡本 順子 .....	17
	第32回 京都自由業団体懇話会親睦 ソフトボール大会 堀井 里見 .....	17
	京都府建築士事務所協会忘年会 堀井 里見 .....	18
【支部だより】	洛東支部 中井 洋一 .....	19
	洛西支部 野間 洋平 .....	19
	洛南支部 田中 祐介 .....	20
【賛助会員だより】	株式会社 ひかり .....	21
	エスケー化研株式会社 .....	22
【法令だより】	2030年までに新築住宅は、ZEH水準への適合化へ 齋藤 義憲 .....	23
【健康だより】	冬の感染症対策 .....	24
【コラム】	空気を読む 野間 洋平 .....	25
	建物探訪 No.2 渡邊 聡 .....	26
【連載企画】	四コマまんが・新入会員のご紹介 .....	27
【あとがき】	スケッチ・編集後記 .....	28

## 会員数 (12月1日現在)

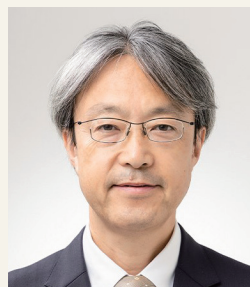
支部	洛北	洛中	洛東	洛南	洛西	桃山	城南	山城	乙訓	南丹	北部	丹後	合計	賛助
事務所数	49	66	32	42	37	31	21	12	22	13	22	5	352	75



## 年頭の辞

一般社団法人京都府建築士事務所協会

会長 内田 康博



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和八年の幕開けにあたり、会員の皆様に心よりお祝いを申し上げますとともに、日頃より本会の活動にご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

本年は、私たちにとって大きな節目となる行事が控えております。来る**10月2日、ロームシアター京都**において**第48回建築士事務所全国大会（京都大会）**を開催いたします。大会テーマは「**歴史と技術を積み重ね、ここ豊かな建築へ!**」とし、京都という歴史と文化の豊かな地にふさわしい内容を掲げ、全国の仲間とともに未来の建築の在り方を考える場としたいと存じます。

この大会を成功に導くためには、会員の皆様一人ひとりのご協力が欠かせません。運営や企画へのご参加、情報発信へのご支援など、様々な場面でお力添えをいただければ幸いです。京都の地で全国の仲間を迎えるにあたり、私たちの結束とおもてなしの心を示す場としたいと願っております。

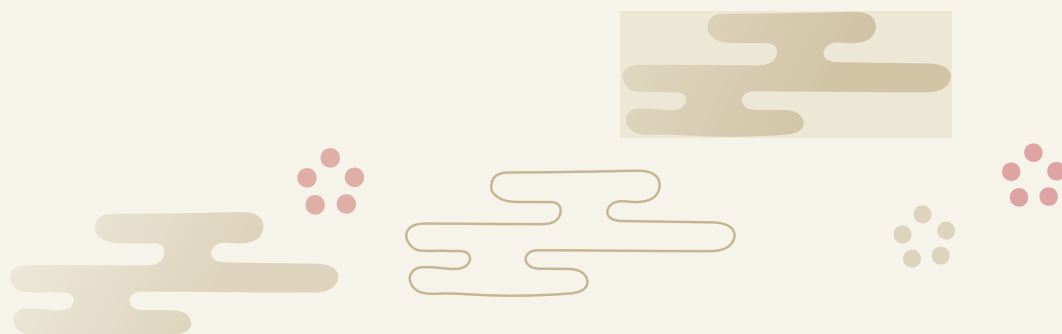
さて、昨年を振り返りますと、社会全体が大きな変化の波にさらされる一年でありました。建築基準法の改正、及び、建築物省エネ法の改正などにより、申請手続きを含む仕事内容が増加する一方で、働き方改革により就

労時間が制約を受けるなど、仕事の進め方により一層の工夫が求められています。災害への備えや地域コミュニティの強化といった課題に対しても、専門的知見を活かしながら社会に貢献する責務を改めて感じる一年でありました。

新しい年を迎え、私たち協会は「信頼される建築士集団」としての使命を胸に、さらなる研鑽と挑戦を続ける必要があります。建築を通じて社会に貢献するアイデアを発表する場として、昨年に引き続き、「**未来の京都 建築デザインコンペ 2025**」を開催します。今年は「**つかさねる**」をテーマとしています。建築を学ぶ学生を含む建築設計に携わる多くの仲間呼びかけすることで、当協会を知っていただくことにもつながると考えております。

本年も、会員一人ひとりが専門性を磨き、互いに学び合い、支え合うことで、協会全体の力を高めていきたいと存じます。そして、京都という歴史と文化の豊かな地にふさわしい建築を次世代へと継承し、未来に誇れるまちづくりを実現してまいりましょう。

結びに、会員の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げますとともに、全国大会の成功に向けて引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 未来に向けて輝き続ける 京都づくりに挑戦

京都府知事

西脇隆俊



あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、「大阪・関西万博」の開催を通じて、多くの方に京都の伝統から革新までさまざまな魅力に触れていただきました。また同時に、文化庁の京都移転から3年目を迎え、国と協力して新しい文化政策を京都から創り上げ、世界に向けて発信できたことにより、改めて、京都の文化力の奥深さを再認識する機会となりました。

「美しい花を咲かせ続けるには、停滞することなく、変化し続けなければならない」。これは、室町時代に能を大成した世阿弥が「風姿花伝」に残した後人への心得です。当時の大衆芸能であった猿楽を磨き上げ、日本が世界に誇れる芸術である能へと昇華させていった世阿弥は、常に変化を恐れず進化していく努力の大切さを花に例えて説きました。千年の京都の歴史と文化も、そのときどきの先人たちが絶え間なく変化を繰り返して育てあげてきた、かけがえのない財産であり、国内外から多くの方が訪れる京都の魅力の源泉です。そして、時代の変化を柔軟に受け容れ、常に技術の進歩を人々の幸せにシなやかに結び付け

る文化と心根が、今も昔も京都でイノベーションを生み出し続ける原動力となっています。

本年は、こうした先人たちからの「贈りもの」を活かして、人と人との絆や京都府と府民の皆さまとの信頼関係を大切にしながら取り組んできた、京都府総合計画の最終年度を迎えます。全ての営みの土台となる安心を確かなものとし、府民の皆さまが、未来を担う子どもたちをあたたく育みながら、将来に向かって夢を抱いていける、「あたたくい京都づくり」を実感いただけるよう、取り組んでまいります。

私たちが生きる現代は、人口減少・少子高齢化に加え、気候変動やAIによる技術革新など、大きな変革期にあります。先行きを見通せない今こそ、京都の魅力を支える府民の皆さまや京都を訪れる多彩な人材と共に、先人から引き継いだ京都の魅力の源泉を磨き上げてまいります。そして、今年の干支「午」が象徴する、飛躍し、力強く前進する馬の如く、直面する課題を一つずつ乗り越えながら、前へ前へと絶えず成長を続ける、輝き続ける京都を実現してまいりたいと考えております。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。





## 市長年頭あいさつ

～京都の理想の実現に向けて歩み出す一年に～

京都市長

松井孝治



あけまして、おめでとうございます。

皆様にとって素晴らしい一年となりますことを、心からお祈りいたします。

さて、昨年末に、京都が千年以上にわたり継承してきた自然、歴史、文化などの「まち柄」を確認し、世界と日本、そして京都の現状を踏まえ、2050年を展望した京都のまちの羅針盤となる「京都基本構想」を策定しました。この構想は、京都の各分野を代表する方々、高校生や大学生をはじめ、25年後の京都でオピニオンリーダーになるような若い方々など多くの市民の皆様と、京都のまちが未来に向けて何を大切にすべきかについて意見を出し合い、議論を重ねた結晶です。

今後はこの構想の理念や価値観を拠り所に、「新京都戦略」を改定するなど、具体的な政策を展開していかなければなりません。

京都では長い都市の歴史の中で、祇園祭をはじめとする年中行事や、人間の極致を体現する伝統産業や芸能、そして自然と共生する暮らしの文化が育まれてきました。これらを支えてきたのが、文化芸術、学問、産業、歴史、スポーツ、地域活動など、京都のあらゆる分野で技藝や技能を有し、人を惹きつける磁力を持つ方々、いわば「京都学藝衆」です。これらの方々の技や経験、想いを次の世代へと大切に伝えていくことが地域や国内外の人々から愛される唯一無二の価値を持つ京都の未来につながります。

京都市といたしましても、公園や図書館といった公共空間をもっと市民の皆様に関き、未来を担う子どもたちや若者が、市井に息づく豊かな知恵や学藝に触れる機会を創出し、「夢中」と「感動」が溢れるまちを実現してまいります。

そして、文化芸術、ものづくり、自治の伝統など京都の強みを生かし、若者の起業支援や新産業の創出、企業誘致などの取組を推進し、多彩な人々が交ざり合い、新たな価値を創造し、日本中、世界中の人々から、住みたい、働きたい、活躍したいと思われ、選ばれるまちを目指して様々なチャレンジを重ねてまいります。

新たな四半世紀に向けたスタートとなる今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。物事を力強く前進する意味が込められています。様々な課題を乗り越え、今日の京都の発展を築いてこられた先人の心意気を大切に、誰もが幸せを感じ、互いにつながり、支え合い、生きがいを持って活躍できる。そのような京都の理想の実現に向け、力強い一歩を踏み出してまいります。



## 解体修理に観る屋根瓦と建物の歴史 第1回

城南支部 金森 清正

「すじかい」の連載企画の寄稿依頼を受けて、近年、堺市にある寺院の鐘樓の半解体修理・宇治市内の寺院跡の総門の解体修理・宇治市内の茶問屋の蔵の半解体修理に携わりました。その折に見た屋根瓦について纏め、知見を供用したく3篇に分けて寄稿します。

屋根瓦などに見られる篋書（へらがき）文字や、篆刻（てんこく）文字は、焼成前の段階でしか記すことが出来ないのでその瓦の生産にどのような人間関わったのかを示しています。多くは製作官司・瓦屋（屋号を含む）と製作年であり建物の建設・改修の時期が記され、棟札と共に建物の歴史を推量する手掛りとなります。気儘に読んでいただければ、ありがたいです。

### 堺市の寺院の鐘樓半解体修理

ここでは、屋根の軽量化を含む葺き替えと小屋組みの更新一部軸組の修復工事を行いました。

小屋組み・軸組にあつては腐朽材の更新が主な改修です。

当該鐘樓は今回工事で確認された棟札によると江戸中期宝永五年（1709）に建てられ、江戸後期弘化二年（1846）に再建、その十三年後に屋根の修復工事が行われている。

屋根は入母屋造で本瓦葺きです。大棟の飾り瓦は「獅子口」と言われる形で、上に「経の巻」を3本乗せ、正面に「綾筋」が2本山形にあり、側面にも続いています。正面綾筋の下は瓦当紋は三つ巴紋・左右側面は八葉紋（掬華）となっています。平部は、漆喰の剥がれ防止の櫛目と穴が12個ありました。「獅子口」の内1組には、造瓦者の篋書があり「堺瓦師丹治庄右衛門」とありました。左右の鰭瓦は、獅子口瓦に比して、造瓦年が若干下がる様な印象を目視ですが感じました。

獅子口と左右雲水紋の鰭

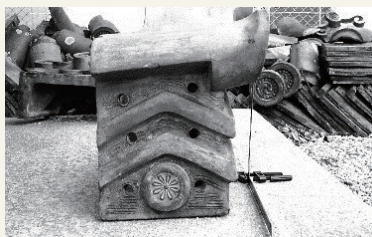
獅子口の最頂部の高さ342 底部の幅364 底部の奥行173



左鰭

獅子口瓦A

右鰭



獅子口Aの側面



獅子口Aの上面



上面にある篋書き  
堺瓦師丹治庄右衛門

造瓦者について、堺市文化財課に確認したところ「初見の銘」であるとの意見で、同課嶋谷氏の論考資料「近世堺の瓦生産者の動向」には、1600～1800年代の項

に、7件 堺の瓦師が挙げられており、丹治銘の瓦師の記載（丹治権左衛門・丹治利右衛門）がありましたが、「庄右衛門」の記述は見当たりませんでした。

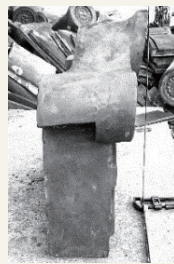
注記：以降 獅子口の内 大棟→A 下り棟→B 隅棟  
(稚児棟)→Cと記します

造瓦者名は獅子口Bの側面にも箋書きがあり 内2個には左に「堺瓦師丹治庄右衛門」右に「明和七庚寅三月」(1770年)の箋書きがあり、他の2個には左に「堺瓦屋新

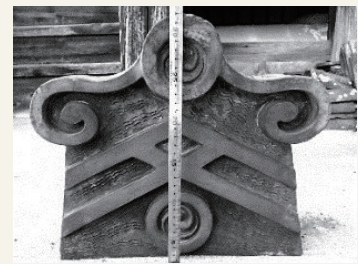
兵衛」右に「弘化二年巳六月」(1845年)の箋書きがあり、江戸期末期の造瓦時期と造瓦師の名が、共に確認できました、獅子口Aも同時期の造瓦と思われます。獅子口Aに見える「庄右衛門」の銘と併せて「瓦屋新兵衛」も、今後の研究の課題です。



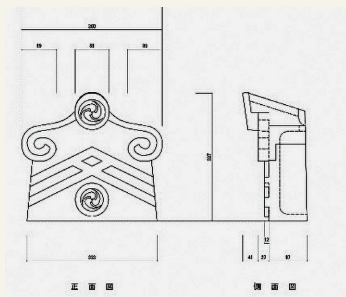
獅子口Bの裏面  
最頂部の高さ327



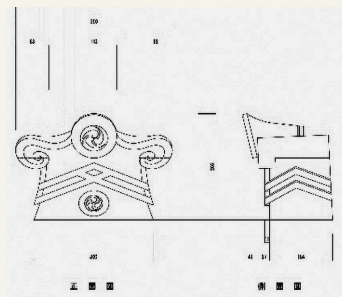
獅子口Bの側面  
底部奥行97



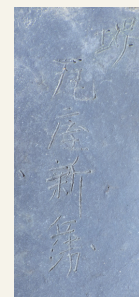
獅子口Bの正面  
底部幅333



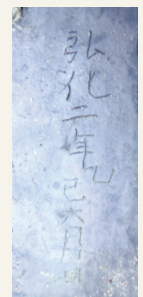
獅子口B



獅子口C



獅子口Bの側面  
堺 瓦屋新兵衛

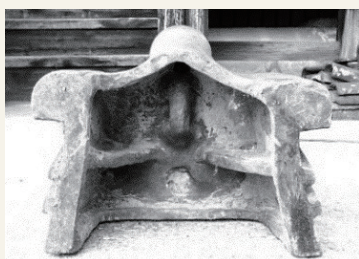


弘化二年巳六月

「獅子口BC」と「獅子口A」との意匠は類似していますが、相違点は大きく二点あり、一点目は、経の巻が中央に一本のみで左右は渦巻き模様になっています。二点目は下段の綾筋が山形ではなく正面で交差している点にあります。又、獅子口BとCの相違点は、奥行寸法と綾筋が正面のみか側面まであるかの違いです。屋根部の渦巻き模様がCの方が少し上下に詰め、傾斜がついて見られます。

この獅子口BCの意匠は、一般には見られず、この地域の特性か、鐘撞堂の創建時(江戸末期)の瓦師の創意による新しい意匠と思いたい。

京瓦製造の第一人者 浅田晶久氏を訪問し、写真を提示し協議確認するも、この意匠は初見と言うことで、記録として残す価値があると思い、採寸の上図化をしました。



獅子口Cの裏面  
最頂部の高さ266



獅子口Cの側面  
底部奥行154



獅子口Cの正面  
底部幅300



# 「第48回 建築士事務所全国大会（京都大会）」 開催にむけて

全国大会（京都大会）実行委員会 第二部会部会長 木下 一盛

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は当協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

本年も引き続き、会員の皆様と共に建築の発展と地域社会への貢献を目指し、取り組んでまいります。どうぞ本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、このたび「第48回 建築士事務所全国大会（京都大会）」が下記の通り開催される運びとなりました。つきましては、正会員・賛助会員の皆様におかれましては是非ご協力及びご参加くださいますようご案内申し上げます。

## 大会テーマ

## 「歴史と技術を積み重ね、こころ豊かな建築へ！」

京都の歴史と現代の技術を融合させ、豊かな建築文化の未来を語り合います。※調整中

〔開催日〕 令和8年（2026年）10月2日（金）

〔大会会場〕 ロームシアター京都

〔展示会場〕 京都市勧業館みやこめっせ

〔パーティ会場〕 ウェスティン都ホテル京都

- 基調講演：大窪健之 氏（立命館大学教授）  
演題（仮）「歴史と技術の積み重ねが未来を守り育む  
—文化遺産の防災から学ぶ建築の未来—」
- 大会式典
- 記念パーティ
- 日事連建築賞作品展示及び物産展  
（飲食スペース設置予定）

### 〈その他の催し〉

- 青年話創会（10月1日に開催）
- 単位会会長懇親会（10月1日に開催）
- 日事連・OBの会 定期総会
- 女性交流会

※現時点での予定です。一部変更となる場合があります。



ロームシアター京都



前回大会でのPRブース

主催：一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会 主管：一般社団法人 京都府建築士事務所協会

## 第47回 建築士事務所全国大会（新潟大会）

洛西支部 堀井 里見

昨年10月3日金曜日に建築士事務所全国大会「新潟大会」が新潟市にて開催されました。大会テーマは「次世代に繋ぐ 環境と調和」です。晴天にも恵まれ、全国から1250人以上が参加されました。私たち京都府からも今年の京都大会に向けた視察も兼ねて35名が参加しました。

会場となったのは榎文彦先生設計の「朱鷺メッセ」でその規模に驚かされました。信濃川沿いに面した気持ちの良いデッキが印象的です。

次年度開催である京都府のPRブースを前日から準備し、また手分けして会場の設営など参考にすべきことを視察しました。

午後1:00からは1階の展示ホールにて山本理顕先生の基調講演がありました。アジアのスラムと呼ばれるような場所でのプロジェクトを通して、ご自身が感じられた地域コミュニティのお話をいただきました。街を見た感じとは違って美しいコミュニティが成されていることなど、興味深いお話でした。最後に大阪万博について反対の立場で意見を表明され、行政にものを言えるのは我々事務所協会であること、しっかりとその役目を果たすべきだという事も忠告いただきました。

その後、2階のメインホールにてパーティーが催されました。新潟市にも古町という花街があり、芸妓さんの踊りの

披露がありました。会場には90種類の日本酒が並べられ、皆さんが思い思いにお酒を飲み比べられていて大盛況でした。

パーティーの最後に次回開催地として京都会が紹介されました。京都会全員でお揃いのTシャツを着て壇上に上がり、内田会長より、開催場所であるロームシアターやみやこめッセ、ウェスティン都ホテル京都の紹介をしていただきました。他の単位会の会員の方から、「是非行きます」とのお声かけもいただきました。

今年の全国大会は、京都で開催です。京都大会は参加者が多いと予想されますので、会場の準備や参加者の誘導にもかなりの労力が必要と思われます。大会に向けて本会員様には積極的にご参加とご協力をお願いいたします。





## 青年話創会2025新潟大会について

令和7年10月2日 於：万代シルバーホテル（新潟市）

主催：一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

企画運営：一般社団法人 新潟県建築士事務所協会 青年部会

青年部 部会長 長西 朋宏

平成28年（2016年）の東京大会からはじまり、全国各地で開催されてきた青年話創会は、若手建築士が地域を越えてつながり、学び合う貴重な場として定着している。その流れを受けて、令和7年10月2日に新潟市内の万代シルバーホテルにおいて「青年話創会2025新潟大会」が開催された。全国各地から約150名の会員が集まり、活気ある雰囲気の中で交流と意見交換が行われた。

今大会のテーマは「いま、そして次世代へつながる建築士事務所のカタチ」。若手建築士がこれからの時代に求められる建築士事務所の在り方を考え、互いの経験や考え方を共有する機会となった。

当日は、参加者がテーブルごとに分かれ、自由な意見交換を行うディスカッションが実施された。地域の垣根を越えて、事務所運営や地域貢献の取り組みについて活発な意見が交わされ、互いに刺激を受ける有意義な時間となった。懇親会では、新潟の地酒や郷土料理を囲み、久しぶりの再会を喜び合いながら、これまでの活動を振り返り、今後の連携強化を誓い合った。

大会の終盤には、京都青年部会のメンバーが壇上に立ち、来年開催予定の「京都大会」に向けたアピールを行った。京都府建築士事務所協会 青年部・女性部合同委員会と近畿ブロック青年部会が協力して大会運営にあたることが紹介され、新潟大会の盛況に続く大会とするため、京都としても一層の努力と協力が求められる。次回大会への期待が高まる中、参加者一同が新たな目標に向けて思いを一つにした。





## 女性交流会2025新潟大会

女性部 部会長 岡本 順子

2025年10月3日、新潟全国大会に先立ち、女性交流会が開催されました。

今年度で4年目になる女性交流会、今年は新潟会の女性達が『輪・話・和 わたしたちの未来をつなぐもの』というテーマで企画してくれました。

全国で頑張っている女性会員との交流や私たちの置かれている環境とその対応策や考え方をディスカッションでできる数少ない機会です。とても楽しみにしていました。さらに今回は、前日から新潟に乗り込んでいるメンバーも多く、前夜祭のような企画もしてくださり、全国の仲間達との心の距離感が縮まりました。

私は3回目の参加でしたが、毎年あたたかな時間を過ごし、それぞれの考え方で夢を叶えているメンバーとのディスカッションは、一年のモチベーションになっています。

次回は京都で開催です。全国の女性達へのエールになるよう準備をしています！



次回、京都大会の開催に向けて…

準備と運営は、京都会の女性会員で実施するため、多くのみなさまのご協力が必要となります。

女性会員のみなさま、是非お力をお貸しください。

ご協力いただける方は、事務局までご連絡いただけますと幸いです。

ご多用のところ恐れ入りますが、何とぞよろしくお願いいたします。

2026年「女性交流会」

【開催日】令和8年10月2日（金）午前 【会場】京都市勧業館 みやこめっせ

ご協力いただける方、是非ご連絡をお待ちしております。

【事務局】 Tel：075-334-5277 Mail：kyotokai@kyoto-kenchiku.com

## 東洋シャッター奈良工場&法隆寺見学会

桃山支部 岩村 和男

令和7年6月20日に会員委員会主催で行われた、東洋シャッター奈良工場&法隆寺見学会に行ってきました。当日、近鉄橿原線 結崎駅集合という事もあり、早朝より久しぶりに電車に乗って集合場所へ向かいます。

何分、集合場所は初めての処でもあり不安もありましたので、遅れないよう早めに到着しようと行動したのが裏目に出て、待ち合わせより1時間以上早く到着し、駅舎は新しいが本当にこの場所で良かったのかハラハラしました。



待ち合わせ時間20分前くらいから徐々に人が集まりだし一安心。

出発時刻5分前あたりで東洋シャッターのお迎えバスが到着し、内田会長挨拶のもと、第一目的地の東洋シャッター奈良工場に着きました。今回の参加人数は合計19名です。工場到着後、営業推進統括部の笠松氏達によって工場の説明・班分けを行い、簡単な商品説明会などをVTRを交えながら行っていた頂き、豪華な昼食をとらせて頂きました。



非常に美味しかったです。

昼過ぎからは、工場と併設の商品展示場での見学です。残念ながら工場内では写真撮影NGとの事でしたので、作業工程や点検作業の見学をさせて頂きました。



本日も一つの目的地、国宝 法隆寺の見学へと向かいます。

目的地駐車場まで東洋シャッターさんのバスで送っていただき、5班に分けての見学スタートです。ボランティア活動を行ってる方々が、ガイドとして就いてくださいました(ありがたい)。西院伽藍前の南大門より入り、中門をくぐって五重塔・金堂・大講堂とガイドを交え見学。



東室・聖霊院・妻室を外部から巡り大宝蔵院へ。ここも写真はNGの為写せず見学のみとなります。中にある、玉虫厨子や百済観音像及び聖徳太子像などは一見の価値があると思います。残念ながら数点の価値がある物は、各地の博物館主催による超国宝展で貸出中とのことで拝見出来ず、また送迎バスの都合により東院伽藍の夢殿などは、私たちの班は見学出来ず非常に残念でした。が、一日有意義に過ごせたと思います。東洋シャッターさんにはノベルティーも頂き、集合場所である近鉄 結崎駅まで送迎いただきました。

“ありがとうございました。楽しかったです。”



## 令和7年度 You・遊・ウォーキング 伊勢・四日市一泊旅行

福利厚生委員 一志 学

### 京都府建築士事務所協会 福利厚生委員会イベント

2025年10月31日から11月1日にかけて、福利厚生委員会主催による1泊バス旅行「You・遊・ウォーキング」伊勢・四日市が開催されました。

初日は、まず御在所ロープウェイに向かい、紅葉の見頃には少し早かったものの、御在所岳山頂からの眺めは素晴らしく参加者から感嘆の声が上がりました。

続いて、AGF 鈴鹿工場にてコーヒーの製造過程を学び、オリジナルブレンドのコーヒーを味わいながら和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごしました。

2日目は、伊勢神宮を訪れ、お伊勢参りを行いました。神聖な雰囲気の中、参加者は神社内を散策し、参拝を

行いながら日本の歴史と文化を感じることができました。最後に訪れたVISONでは、広大な敷地の自然環境を活かし、山に沿って建物を分棟化する集落的な配置が特徴の施設を見学し、ショップや店舗で自由時間を楽しむことができました。

全体を通じて、和やかで楽しい雰囲気の中でも各施設での体験を通じて新たな知識も得ることができました。今回のバス旅行は自然、美味しいコーヒー、歴史、建築を体験できる充実した内容であり、参加者全員が楽しい思い出を持ち帰ることができたイベントとなりました。次のイベントも非常に楽しみです。





## 木と生きるという価値を社会に伝える活動

副会長 橋本 光生

新しい年を迎え、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は「建築物の木造・木質化相談体制強化業務」を通じて、京都らしい木の文化を未来へつなぐ取組みを進めました。設計や構造の技術だけでなく、“木と生きる”という価値を社会に伝える活動を続けてまいりました。

### 木造・木質化の広がり

府内産材の利用促進に向け、建築士会・木材組合・建築工業協同組合が力を合わせ、相談体制の整備や講習会を実施しました。9月には井口木材の伐採現場や京北プレカット工場を巡る見学会を行い、KTS材の強度管理やJAS制度の理解を深めました。

今年は住宅・非住宅を問わず、木造建築の設計力を高めるリスキリング講習を予定しています。さらに、日事連と国交省・農水省が締結した「建築物木材利用促進協定」と連携し、京都府・京都市とも協定締結に向けて協議を進めています。

### 府民とともに木を感じる

3年目を迎えた「未来につなぐ京の木府民会議」では、府民一人ひとりが木と関わりながら、持続可能な地域社会を築くことを目指しています。イオンモールや植物園など、身近な場所での体験型イベントを通じて、家具、香り、音など“暮らしに寄り添う木の魅力”を五感で感じてもらう取組みを企画しています。

### 現場の声から見た報酬の課題

昨年、協会で実施した「木造住宅耐震診断に関する業務報酬実態調査」では、平均報酬が55,000円に

し、実働時間は約17.5時間を要するなど、建築士の責任や専門性に見合わない水準であることが明らかになりました。

この実態を踏まえ、行政との協議を通じて**適正な報酬水準への見直し**を求めています。若手建築士が誇りをもって仕事を続けられるよう、持続可能な制度設計をめざして交渉を重ねています。

### 地域とともに防災を支える

京都府自由業団体懇話会では「大規模災害等発生時における相談業務協定」案が進められており、被災者支援を多職種が連携して担う体制づくりの検討が始まっています。建築士の知識と技術は、防災から復興まで地域の要として大きな期待を寄せられています。

### 結びに

木を活かすこと、暮らしを守ること、そして職能を次代へつなぐこと。

それぞれの現場で積み重ねる努力が、京都の建築文化を未来へ導きます。

本年も共に学び、共に支え合いながら、豊かな社会の礎を築いてまいりましょう。



未来の京都建築デザインコンペ2024  
展示会を終えて

デザインコンペ実行特別委員会 委員長 岡本 順子

2025年12月6日(土)、7日(日)の2日間に、京都市役所前地下のゼスト御池御幸町広場にて展示会を開催しました。「新しい世界のうまれるところ」というテーマで募集した昨年度のコンペ全応募作品38点を展示しました。デザインコンペ実行特別委員会、キャンペーン委員会、広報委員会の3委員会が協力して2日間の会期を運営しました。

人の往来が多い場所での開催ということもあり、様々な方に興味と関心を持って観ていただきました。設計事務所勤務の方、設計士になりたくて勉強している高校生、違う仕事をしているけれど建築に興味がある方…。

未来の京都を元気にする作品のアイデアに共感して感心して、じっくり鑑賞していただきました。

2日間を通して感じたことは、多くの方がこれからの京都を創り出していく設計事務所に興味があり、期待してくれているということです。私たちの日々の仕事は明日の京都を創り出し、それが期待されているということを実感しました。

2025年度の建築デザインコンペは、「つみかさねる」というテーマで2月から応募が始まります。たくさんのアイデアに出会えることが今から楽しみです。





京都の未来を切り開き、元気にする建築のアイデア募集！

FUTURE KYOTO ARCHITECTURE DESIGN COMPETITION 2025

# 建築デザインコンペ 2025

**京**都は平安京以来、1000年以上にわたり首都として多くの人が住み続け、文化を紡ぎ続けてきた土地であり、世界的に見ても類を見ない貴重な都市です。さらにさかのぼりますと、京都府内も含め、古墳時代の遺跡はもちろん、縄文時代の遺跡も多数確認されています。

現代からは、かき離れた時代のことのように感じられますが、現代の建築はその時代からの積み重ねの成果であり、最先端の技術、文化、芸術も、過去からの積み重ねの成果です。現在の問題に取り組み、一歩先へ進むために、私たちは、どのような積み重ねの歴史の上に、さらに何を積み重ねることができるのでしょうか。建築の分野において、何を、どのように積み重ねることが可能か、幅広いアイデアを募集します！

募集テーマ

## つみかさねる

**募集期間**

2026.2.2 (月)

→ 2.27 (金) (必着)

**昨年度応募作品の展示**

2025.12.6 (日) 10:00~18:00  
(最終日：17:00)

ゼスト豊池 御幸町広場 京都市中京区本町東側町

※受賞作品の一瞥



■建築条件・想定する敷地は京府内とし、具体的な場所を特定する必要はなく、各自指定し、用途、規模、法規、構造、設備、敷地の所有権などの制約は設けません。従属権、未熟地を問いません。また、実作・計画案のいずれでも可です。■審査委員・審査員：平田繁久（株式会社平田繁久建築設計事務所）、石原孝幸（株式会社）、島村 文雄（株式会社建築株式会社）、生田昌隆（大学学務院）、委員・上野浩治（一般建築士事務所）株式会社上野建築事務所、一般社団法人 日本建築士事務所協会（会）、委員・佐藤博樹（一般建築士事務所）内田建築研究所、一般社団法人 京都府建築士事務所協会、会 田中 康幸（建築士事務所）、建築士事務所、建築士、建築士について学ぶ学生など、個人、及びグループ、■募集料・入賞：1点、優秀賞：2点、佳作：3点、奨励賞：若干名、受賞者には賞状、及び記念品を授与します。■発表：2026年4月1日（水）■観覧式：2026年5月2日（火）17:00～（予定）■賞品・出版物／エントラゼンセント・南庭の光さきは24号（420mm×554mm）1枚（複製入り）、ガラスなど、掛けられない紙ととし、着色などや現実に叶わない制約はありません。無記入とし、個人を特定できない、目印等も記入しないこと、開放にして、当協会にて展示させていただきます。2.応募後：自協会のホームページから建築デザインコンペのコーナーがあり、新着応募建築デザインセンターにて応募作品を公開します。エントラゼンセントの裏面に貼り付けてください。3.エントラゼンセント・エントラゼンセントの PDF 印刷の専用データをメールに添付し、応募者の氏名、又は団体名を記入の上、以下の専用アドレスに送信してください。

京都府建築士事務所協会HPアドレス <https://kyoto-kenchiku.com>  
応募専用アドレス [mirai@kyoto-kenchiku.com](mailto:mirai@kyoto-kenchiku.com)

提出先・問い合わせ先



一般社団法人 京都府建築士事務所協会  
TEL 075-334-5277 FAX 075-334-5377 E-mail [mirai@kyoto-kenchiku.com](mailto:mirai@kyoto-kenchiku.com)  
■主催：一般社団法人 京都府建築士事務所協会 ■共催：一般社団法人 日本建築士事務所協会

〒603-8163 京都市北区小倉山南大野町1丁目 竜明会館4階



## 木造住宅耐震診断の普及啓発について

木造耐震委員会 委員長 富家 裕久

京都府建築士事務所協会では、例年「府民交流フェスタ」に出展しており、昨年もキャンペーン委員会と木造耐震委員会が共同で参加いたしました。開催日は11月3日、10時から16時まで。天候は雨の時間帯もありましたが、来場者は約9,000人と京都府のホームページに公表されており、多くの方に足を運んでいただけた催しとなりました。

当協会ブースでは、キャンペーン委員会による「段ボールハウス」の組み立て・デコレーション体験を実施し、例年同様、小さなお子さま連れのご家族で大変賑わいました。その隣では、木造耐震委員会として建築相談・耐震相談コーナーを設け、耐震に関するパネル展示も行いました。ただし、会場の性質上、座ってじっくりと相談を受ける環境ではないため、相談件数が大幅に伸びる状況ではありません。そこで、キャンペーン委員会の体験ブースの順番待ちの方々に向け、パフォーマンス形式で耐震の基礎的な考え方を伝える試みを行いました。

今回の実演では、京安心すまいセンターより「ピノキオぶる君」をお借りしました。これは、2階建て木造住宅の構造モデルに手動で振動を与え、地震動が建物に及ぼす影響を視覚的に確認できる優れた教材です。このモデルを活用し、地震動の周期の違いによる揺れ方の差、荷重や耐

震要素の配置によって生じる変形の違いなどを実験形式で紹介しました。

具体的には、長周期地震動と短周期地震動による揺れ方の違いを示し、南海トラフ巨大地震と直下型地震の特徴的な揺れを比較。また、耐震要素の偏った配置がもたらす「偏心」によって、壁量が十分でも倒壊し得ることを実演しました。モデルが実際に倒壊する様子は来場者の目を引き、その後の説明にも皆さん熱心に耳を傾けてくださいました。

子ども向けには、倒壊実験を体験してもらい、その後「すじかい」を使った補強で“最強の家”を作るという参加型の実験を実施しました。これが大変好評で、多くの子どもたちが何度もチャレンジする姿が見られました。その間、保護者の方々からは地震に関する素朴な疑問や、自宅の耐震性に関する相談が自然と寄せられ、中には耐震診断の実施を希望される方もいらっしゃいました。

今回のフェスタを通じ、木造住宅の耐震診断に関する理解を深めていただく良い機会になり、普及啓発の面でも大きな成果があったと実感しております。





## 府民交流フェスタへの出展事業について

キャンペーン委員会 委員長 岡本 順子

昨年11月3日に京都府立植物園の広大な敷地で開催された「府民交流フェスタ」にキャンペーン事業として出展いたしました。

毎年1万人を超える参加者数の賑やかなイベントです。今年は天候が悪く例年に比べて少し少なく感じましたが、じっくり家づくりの楽しさや耐震の重要性を感じていただけました。

キャンペーン委員会としては、子どもたちに向けた「段ボールハウス」を無償提供し、子どもたちが楽しく段ボールハウスを作る傍らで、私たち事務所協会のPRをしました。ここ数年、毎年参加している事務所協会のブースもすっかり顔馴染みになりました。

「サンタさんの家を創ったよ!」「将来は建築士になりたい!」などと声をかけてくれる子どもたちもいて、継続の大切さと建築士業界の将来性の明るさに感じ入りました。普段接することの少ない職業である建築士と触れ合う機会、そして事務所協会の活動内容を周知する場として、有

意義なイベントになりました。

隣のテントでは、木造耐震委員会が、無料の建築相談会と大型の耐震模型の「ぶるる君」を使って在来木造2階建てモデルの振動実験の体験会を開催しました。

「ぶるる君」とは、筋交いを付けたり外したりして、地震を想定した振動に対する強度を実験できる木製の模型です。子どもたちは、木造耐震委員会の説明に興味津々に聞き、自身で筋交いを入れたり抜いたりしながら建物の構造の大切さを体感していました。

今年はノベルティのエコバッグも準備し、さらに多くの府民に対し、建築士の仕事の楽しさ、やりがい、そして本会の重要性を周知できた一日となりました。



## 第32回 京都自由業団体懇話会親睦ソフトボール大会

洛西支部 堀井 里見

令和7年11月15日第32回京都自由業団体懇話会親睦ソフトボール大会が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、参加9団体によるトーナメント方式により熱戦が繰り広げられました。

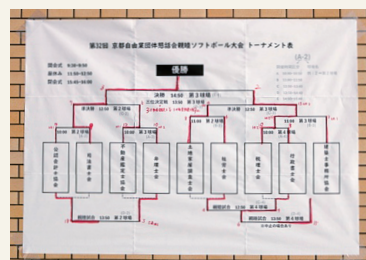
我々建築士事務所協会は近年なかなか勝利を挙げることができずにいましたが、昨年は合計15人の参加者があり、その中には高校野球経験者も数名おられ、その上バットも1本新調していただきましたので「今年は優勝を狙おう」と意気込んでいました。

1回戦の相手は優勝候補の税理士会でした。期待通り若者も活躍し、よく守りましたが、10-3で敗れてしまいました。敗れはした

ものの割といい試合になったと思います。

午後からは敗れたチーム同士で行政書士会と対戦し15-6で勝利しました。

晴れた空の下、スポーツをするというのはとても気持ちがよく、チーム内や他団体との親睦を通してストレスも発散できてとても有意義な大会です。皆さんも今年は是非ご参加お待ちしております。



## 京都府建築士事務所協会忘年会

洛西支部 堀井 里見

令和7年12月5日に京都府建築士事務所協会の忘年会が京都ブライトンホテルにて行われました。

正会員45名、賛助会員23名、滋賀会から会長、副会長含め4名、大阪会から女性部会の2名など総勢83名が参加され、アットホームな雰囲気の中での開催となりました。

高橋名誉会長の乾杯のあいさつに始まり、恒例となりました還暦のお祝いに橋本副会長と日高福利厚生委員に赤いTシャツが送られました。その後は食事、歓談をしながら、協賛品をご提供いただきました企業様による企業PRとくじ引きやじゃんけん大会が行われ、あっという間に時間が過ぎ

ました。

今年、京都で開催される建築士事務所協会全国大会にむけ、昨年から慌ただしくなっており、1年の締めくくりとして楽しい雰囲気の中、親睦を深めることも出来ました。

前述のとおり今年の10月2日には全国大会が京都で行われるため、当協会の活動に対して、益々のご協力が必要になります。半世紀に1度の事ですので、是非皆様のご理解ご協力をいただきたく思います。どうぞよろしく願いいたします。

今年の忘年会は全国大会の打ち上げを兼ねて、更に盛大に開催されることでしょう。





## 洛東支部

支部長 中井 洋一

新年が明けて令和も8年となり、新たな年がスタートしました。皆さまも新たな気持ちで新年をお迎えになられたことと存じます。

### 支部の活動報告

現在の洛東支部会員は31名となっております。

令和7年8月1日 第2回支部会 洛北支部さんと合同開催で、貴船の「ひろ文」にて納涼懇親会を行いました。この夏は猛暑でしたが、こちらはとても涼しく賑やかなひと時でした。

11月21日 第3回支部会 京都市東部文化会館にて翌年の全国大会 京都会の広告協賛募集などをご案内いたしました。盛大で華やかな大会を皆さんで盛り上げていきましょう!!



納涼懇親会



第3回支部会

### 今後の活動について

令和8年1月9日 支部会新年会を鞍馬口の「畑かく」にて予定し、洛北支部さんとご一緒する企画です。鍋がとても楽しみです。

令和8年度の支部会も、より有意義な会になりますよう、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



山科 毘沙門堂 紅葉狩り2025年

## 洛西支部

支部長 野間 洋平

新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

今回は西京区洛西口をご紹介します。

京都が観光地として人気すぎて、京都市内は外国人ばかり! もう日本じゃないみたい! オーバーツーリズムで日常生活に支障がある! とよく耳にしますが、洛西エリアで外国人が多いのは嵐山周辺ぐらい。最近では国内観光地で京都が敬遠されていますが、西京区では国内旅行者が増えています。人気なのが西山連峰。寺社仏閣が意外とあり、桜や紅葉など季節を感じる穴場スポットです。そして交通の便が良い。阪急洛西口、阪急桂駅、JR桂川駅、京都縦貫道大原野IC沓掛IC、国道9号線、国道171号線と陸移動が楽です。

商業施設ではイオンモール京都桂川があり、数多くのイオンモールの中で群を抜いて人気らしいです。

でも西京区ではない…。

洛西口駅の横では新たな施設を建てるため工事中。計画が何度か変更していますがどんな施設になるのか楽しみです。でも西京区ではない…。

阪急高架下にはTauTという飲食店が並ぶエリアがあります。地元民しか利用していない気がしますが…。桂駅前には飲食店も多く、賑わいがあります。観光客も少ないのでオススメ。

そんな洛西口は住宅地として人気上がり、地価が上がっています。新たに引っ越してくる方が高所得者率高く、最近では高級車をよく見かけます。

洛西口周辺はまだまだ発展していきそうな気配がありますよ。固定資産税がどこまで上がるのか不安でしかないです(笑)

## 洛南支部

支部長 田中 祐介

京都市南区東九条に現存する長谷川家住宅は1742年に建てられた、京都市内では数少ない江戸時代に建てられた民家です。築造270年となる2012年に改修工事を終え、表門などの付属建物も含めて2013年に国の登録有形文化財に登録されました。

江戸時代の長谷川家は当時の東九条村にて農地経営を生業としつつ、相国寺領の管理や公家である庭田家の家来もつとめていました。明治期の子孫である長谷川良雄（1884～1942）は京都高等工芸学校（現在の京都工芸繊維大学）の第一期入学生で武田五一や浅井忠に師事し、卒業後は家業に携わるかたわら数々の水彩画の作品を残しています。

築造当時は洛外の農村であり、建物は農家住宅に分類されますが、母屋に虫籠窓が設けられているといった京町家の特徴も見られます。土間の上部には大きな梁組があり見応えがあります。貫を多数設けた小屋組は京町家に見られるものと同じ形式です。

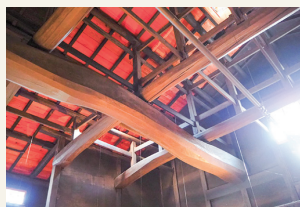
開館日は土日10:00～16:00とされていますが、イベント開催の場合もありますので、「一般財団法人 長谷川歴史・文化・交流の家」のホームページで確認後に連絡してから訪問されることをおすすめします。京都市営地下鉄烏丸線「十条駅」下車、北東へ徒歩10分ほどのところにあります。



表門



母屋



土間の小屋組







株式会社 ひかり

〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-2-3チサン第7新大阪308  
電話：06-6732-9140 FAX：06-6732-9150 担当：犬丸

## □株式会社ひかりとは？

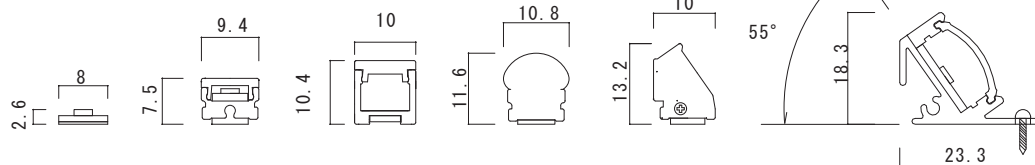
豊富な実績とアイテムで照明空間のお手伝い

### ○実績

- ・ LED照明手掛けて約20年
- ・ 5000件以上の実績(年間300件以上)
- 住宅・店舗・ホテル・美術館/博物館・その他施設
- <直近実績>
- 2023年／353件    2024年／359件    2025年／311件

### ○アイテム

- ・ ライン照明80種類以上のアイテム



- ・ 28/40/60/75 φ DL    45/60 φ SPOT

開口径28φ

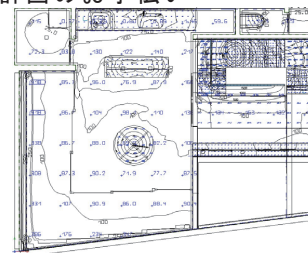
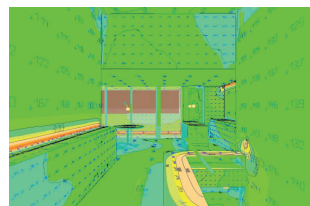
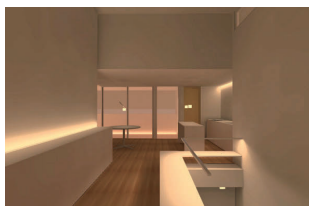
開口径40φ

開口径60φ



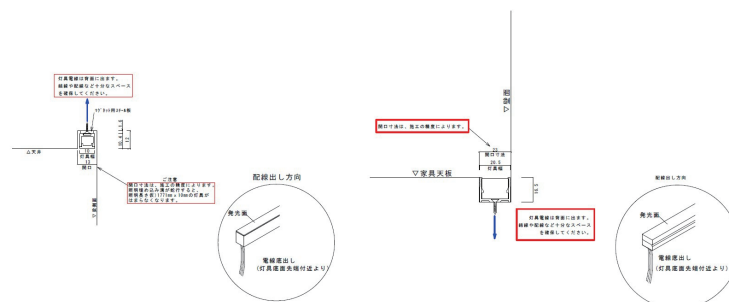
### ○サポート

- ・ 最適な器具選定 & 照度シミュレーションによる照明計画のお手伝い



当社器具以外の他社器具を含めての全体的な照度計算を無償でサポート

- ・ ライン照明収まり最適な断面作図ご提案





創業 70 周年 建築の未来を彩る、建築仕上材の総合メーカー



### 創業 70 周年を迎えて

2025 年、エスケー化研は創業 70 周年を迎えました。1955 年、大阪市北区において「四国化学研究所」として創業。当初は塗料用廃液溶剤類の蒸留精製や建築用塗料製品の製造販売から始まり、「無から有を生じる」をモットーに着実な成長を遂げてまいりました。1963 年に「四国化研工業株式会社」へ改称し、1991 年には現在の「エスケー化研株式会社」として新たなスタートを切りました。

70 年の歴史の中で、私たちは常に建築現場の課題に向き合い、革新的な製品開発に取り組んでまいりました。現在では建築仕上塗材において国内最大手として、戸建て住宅から大型建築物まで、全国の多様な建築物の美観と保護に貢献しています。

### ピックアップ製品

超耐候・超低汚染バイオマス樹脂複合無機塗料

## エスケーバイオマス無機 GR

卓越した超耐候性 (GReat Resistance) で建物の長寿命化を実現し、環境配慮 (GReen) にも貢献する次世代型塗料

エスケーバイオマス無機 GR は、マルチレイヤー構造とラジカルコントロール技術により、従来のふっ素樹脂塗料を超える耐候性を発揮します。また、植物由来のバイオマス原料を使用し、CO<sub>2</sub> 排出量削減効果を示す「バイオマスマーク」も取得しており、環境配慮型製品としてカーボンニュートラルに貢献します。

建築仕上材の総合メーカー

エスケー化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂積 3-5-25  
京都支店 京都市伏見区竹田中島町 263

☎ 072-621-7733  
☎ 075-646-3967



## 2030年までに新築住宅は、 ZEH 水準への適合化へ

法令・景観委員長 齋藤 義憲

2025年4月1日より、建築物省エネ法の改正に伴い、建築基準法も改正になりました。2030年に新築住宅はZEHの水準の適合化が義務になるため、今回の省エネ基準適合義務化で、省エネ住宅の基準は終わるわけではありません。最低基準の省エネ性能の家では今後の省エネ基準に対応できない既存住宅になってしまう可能性があります。よって、既に2030年の誘導基準で計画する必要があります。

政府がいう誘導基準とは、断熱等性能等級5かつ一次エネルギー消費量等級6の性能を有する住宅です。一次エネルギー消費性能BEIは0.8以下（再生可能エネルギーを除く）で、再生可能エネルギー等を除き、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量削減という等級です。注意すべき点は、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロ以下にするZEHではなく、「ZEH水準（ZEH基準の水準）」に適合する住宅には、太陽光発電システム等の再生可能エネルギーの導入は必要がないという点です。

断熱性等級5とは、京都市は、地域区分が6ですので、外皮平均熱貫流率 $U_A$ が0.6、平均日射熱取得率 $\eta_{AC}$ は2.8および結露発生防止の対策が必要です。

増改築した場合の住宅の省エネ基準の適合についても、変更されました。増改築を行う建物部分のみが省エネ基準に適合していればよいことになりました。今までハードルが高かった既存住宅の省エネ化も、この法改正で行いやすくなります。

### 【省エネ基準適合の増改築の工事】

- ・増築部分の壁、屋根、窓等に、一定の断熱材や窓等を施工する。
- ・増築部分に一定性能以上の空調や照明等の設備を設置する。

それらによって増改築した部分が省エネ基準に適合すればよいということになります。

全ての住宅や非住宅に省エネ基準への適合が義務付けられることにより、4号特例の見直しがされ、2025年には4号特例の条文がなくなりました。省エネ基準適合性判定審査と構造安全規制の審査は、建築確認申請時に一体となって行われることになりました。つまり、すべての住宅・非住宅に省エネ計算や構造計算が必要になり、建築確認申請への対応の仕方も大きく変わりました。平家かつ延べ面積200㎡以下の建築物（建築確認・検査不要、省エネ基準への適合性審査・検査省略）以外の建築物は、構造種別によらず、構造関係規定等の審査が必要になったことは、業務上、大きい改正だと思われます。

	非住宅	住宅
		審査が容易な場合※3
300㎡以上	適合性判定／建築確認・検査	【省エネ適判必要】 適合性判定／ 建築確認・検査
300㎡未満	適合性判定／建築確認・検査	【省エネ適判不要】 【(2) 建築確認・検査
平家かつ 200㎡以下	【(1)②】省エネ基準への適合性審査・検査省略（構造・防火並び）※2 【(1)①】建築確認・検査不要※1	

※1 都市計画区域・準都市計画区域の外の建築物（平家かつ200㎡以下）

※2 都市計画区域・準都市計画区域の内の建築物（平家かつ200㎡以下）で、建築士が設計・工事監理を行った建築物

※3 仕様基準による場合（省エネ計算なし）等

【施行日：公布の日から3年以内】

【適合義務対象建築物における手続き・審査の要否】

「国土交通省HP」より抜粋

## 冬の感染症対策

冬は低温・低湿な環境から、ウイルスの活動が活発になり、インフルエンザや感染性胃腸炎など様々な感染症が流行しやすい時期です。日頃のちょっとした心がけが感染予防に大きくつながりますので、ぜひ対策を習慣化させていきましょう。

### ◆ 感染対策のポイント ◆

#### ① こまめな手洗い

帰宅後・調理の前後・食事前・トイレ後など、石けんを使って念入りに！



#### ② こまめな換気

暖房器具の使用中也、定期的に窓を開け換気しましょう。対角線上にある2か所の窓を開けると効果的です。



#### ③ 室内の加湿

(湿度 50～60%が目安)

加湿器がない場合でも、洗濯物の部屋干しや濡れタオル干しなども対策になります。



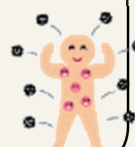
#### ④ 食材の十分な加熱

加熱して食べる食材は、中心部まで十分火を通しましょう。  
85℃で1分以上の加熱が目安です。



#### ⑤ 免疫力の向上

生活習慣を整えることが、免疫力アップにつながります。



水分補給やうがい、マスクの着用などで、のどの乾燥も防ぎましょう！



### ～ 免疫力を高める生活習慣 ～

#### □ 1日3食！栄養バランスのとれた食事

偏食は避け、主食・主菜・副菜のそろった食事を心がけましょう。

また、腸内環境を整える発酵食品(ヨーグルト・納豆・味噌など)も意識してとるようにしましょう。

免疫細胞は腸管内に集中しています。

#### □ 十分な睡眠(6時間以上を目安に)

睡眠は“時間”だけでなく“質”も重要です。以下のような習慣が睡眠の質向上に効果的です。

- ・毎朝同じ時間に起床し、起床後すぐに太陽の光を浴びる。
- ・湯船に浸かる
- ・就寝前のスマホ使用は避ける ...など



就寝時も部屋の加湿をお忘れなく！

#### □ 適度な運動

冬は寒さから活動量が落ちてしまいがちですが、まずは日常生活の中でよく動くことを意識してみましょう。



#### □ からだを温める

体温が低下すると免疫力も落ちてしまいます。以下のような工夫で、冬の冷えを乗り越えましょう。

- ・衣服の工夫(マフラーや手袋、腹巻の使用など)
- ・ゆっくり湯船に浸かる
- ・食べ物や飲み物でからだを中から温める ...など





## 空気を読む

洛西支部 野間 洋平

KY。空気を読めない人に向かって一時期よく使われていた言葉です。2007年の流行語にノミネートされています。もうそんなに前なのですね。KYから派生した略語を大人たちはKY語とか言っていました。最近ではDAI語と言うみたいです。某タレントの名前です。

最近では日本に来る外国人が事前に空気を読む練習をしてくるそうです。空気を読むゲームが人気らしいですよ。私は毎月、伏見稲荷に参拝をしていて、空気の読めない外国人だらけで辟易していましたが最近は空気を読める外国人が多くなったように思います。むしろ日本人の方が空気を読めてない気がします…。

では海外には空気を読むという考え方は無いのだろうか。直接的に翻訳する言葉はないようだが、似た言葉はいくつかあるそうです。似た言葉があるのになぜ日本に来る事前練習で空気を読むのか。どうも話を聞くと根本が違うそうです。

日本は調和を求められることが多く、海外では個性を求められることが多いというのが大きな違いを生むようです。日本での様々な場面で言う『空気を読め』とは場を乱すな。という意味が込められています。会議での発言、電車の静寂、店先の列など。

では英語だとどうだろうか。read the room.read between the lines.take a hint.Insensitive. などあるが、どれも意味する所は気づけよ。という意味が込められています。もう少し畏まった言葉にするなら日本語は同調。英語は洞察。と言えます。

会話の流れだと、日本の場合の空気を読めは言動を慎み皆に同調しなさい。英語だと現状をしっかりと洞察し、私見を述べなさい。そんな違いがあるようです。

日本人は幼い頃から他人に迷惑をかけないようにと育てられた人が多い。人に迷惑をかけないという一番良い方法が右に倣え。つまりこれまでの伝統や流れに逆らわず保守

的になるということ。たしかにその方がトラブルは起こりにくい。日本の空気を読むことは守りに入ること。一方の外国では自己主張が大事と教えられ、どのタイミングで発言するのが一番効率的に主張を通せるか期を伺う。攻めの考え方となる。

日本の会議では同調することが多い。そのため多角的な意見が出にくいことがままある。ここに外国人的な空気を読むが加わるとどうなるのか。会議の流れを読み、発言者の意図を読み取り、自己意見を述べる。こういうことが建設的な会議となり、有意義なものとなる。ワンマン社長の会社では右に倣えが多いのはそう言った空気の読み方が原因なのかもしれない。

最近ではハラスメント問題で社会全体が変わろうとしている。これまでハラスメントが横行していたのは同調が良しとされていた所がある。それが変わろうとしているが、多くの人が何をもってハラスメントと訴えられるかわからない。だから極力人との関わり方に距離を置く。そんな考え方が様々な所で感じられる。守りに入る考え方だ。これを良しとするのは空気を読み取る洞察力が無いと言っているようにも感じられる。これからはきちんと場の空気を読み取り、洞察し、発言する力が大事に思う。

同じ言動でもAさんはハラスメントだがBさんはハラスメントにならない。これはBさんが普段からの洞察で人間関係を上手く構築した結果となる。MeToo運動とコロナ禍によって人との関わり方に距離が置かれた。この距離が日本人には少なかった洞察力をさらに落とし、同調する場をも無くした。最近の日本人に空気が読めない人が増えたと思うのは、こういった原因があるのかもしれない。

正しい空気の読み方をするためにも積極的に人と関わる事が大事となる。

## 建物探訪 No.2

### 大阪・関西万博

桃山支部 渡邊 聡

大阪・関西万博を視察し、世界各国が提案する最新の技術や文化、未来社会のあり方に触れることができ大変貴重な機会となりました。

特に印象に残ったのは、フランス館、シンガポール館です。

フランス館では、ルイ・ヴィトンやクリスチャン・ディオールといった世界的ブランドの展示が建築空間と高い次元で融合し、空間デザインが人々の感性や価値観に与える影響力の大きさを改めて実感しました。

シンガポール館では「未来へのメッセージ」が随所に込められ、環境と共生しながら持続可能な都市を築くためのビジョンが提示されていました。自然との調和や再生可能エネルギーの活用など、建築が未来社会に果たすべき責任と

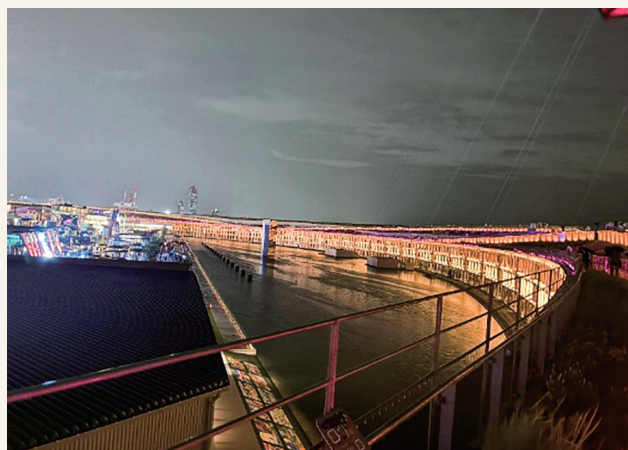
方向性について、多くの示唆を得ることができました。

大屋根リングは、巨大なスケールにもかかわらず、歩行者の視線レベルが丁寧に設計されており、“動きながら体感する建築”として非常に完成度が高いと感じました。

当初、万博全体にはどこか「準備不足」「暫定的な場」というネガティブなイメージを抱いていましたが、実際に現地を2回訪れ、大屋根リングを中心に空間を歩いてみると、その印象は大きく変わりました。

建築が文化や社会、そして未来と密接に結びつき、人々の体験や価値観を豊かにする力を持っていることを再認識しました。

今回気づいた事を今後の設計活動に活かしていきたい。





## 本日のまとめ

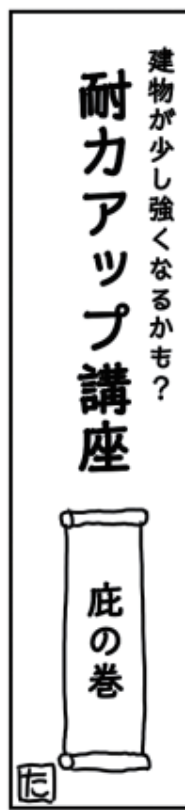
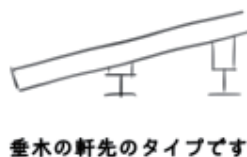
底の高さや部材の設け方で対応が変わります

鉄骨梁の場合例えば、

①小梁と連続させる



②梁の上で天秤形式



(作・田中祐介)

## 新入会員のご紹介 (令和6年11月～令和7年12月)

【正会員】

(敬称略)

入会日	支部	事務所名	開設者
2024/12/17	桃山支部	(株) 長栄 一級建築士事務所	船井 渉
2024/12/17	桃山支部	(株) 積み木設計室 一級建築士事務所	牧野 孝明
2025/1/21	丹後支部	未来総合デザイン(株) 一級建築士事務所	山副 貞信
2025/2/18	洛北支部	一級建築士事務所 ロスレス(株)	岡村 健二
2025/4/22	洛中支部	コネクト一級建築士事務所	高木 文
2025/6/17	洛西支部	ファステック(株) 一級建築士事務所	井上廣一郎
2025/6/17	洛南支部	二級建築士事務所 (株) 葉月建築事務所	西村 俊宏
2025/7/15	洛南支部	Boxon Design Lab 二級建築士事務所	木村 哲也
2025/7/15	洛中支部	一級建築士事務所 川畑智宏建築設計事務所	川畑 智宏
2025/7/15	洛中支部	オリエンハウス(株) 本社一級建築士事務所	川畑 善広
2025/7/15	乙訓支部	リグ匠建設(株) 一級建築士事務所	別役 龍人
2025/8/19	洛東支部	(株) ロイヤル住建 二級建築士事務所	岡田 正幸
2025/8/19	洛北支部	(株) SOL 一級建築士事務所	大杉 和弘
2025/9/16	北部支部	(株) 門野組 一級建築士事務所	門野 繁
2025/10/21	洛南支部	(株) ファムス 一級建築士事務所	安藤陵太郎
2025/11/18	洛中支部	(株) ダイバ設計 一級建築士事務所	柳原 義之
2025/12/16	洛中支部	かつらぎ瓦斯器具(株) 二級建築士事務所	葛城 敏史
2025/12/16	洛南支部	二級建築士事務所 701Design	横田真奈美

【賛助会員】

(敬称略)

入会日	会社名	代表者
2024/12/17	YKK AP(株) 京滋支店	上野 真輔
2025/1/21	岡崎電工(株)	岡崎 満
2025/3/18	(株) アーキテクト・笹原	笹原 堂弘
2025/3/18	オリエンハウス(株)	村上 範行
2025/4/22	(株) 伸木	奥 正光
2025/6/17	(株) タナカ 住宅資材部門	今井 良亮
2025/7/15	株式会社エネ・グリーン大阪支社	谷川 嘉孝
2025/9/16	京都庭屋 流	小川 豪
2025/11/18	(株) 笠松堂	笠松 哲司

## 明治村帝国ホテル中央玄関

帝国ホテルが面白い。まいいい京都の近代建築ツアーガイドとして、しばしば明治村を訪れる機会を得たので、実物を見て学んでいる。

玄関庇の装飾は彫刻された大谷石に透かし細工をほどこした銅板を巻き付けてから型枠につり込みコンクリートを打っている。石工、鋳職、型枠工の見事な連

携で作り上げられていることに感嘆する。ライトが現場に入ること江戸時代以来の日本の職人魂が呼び覚まされたかのようだ。

ライトはその後タリアセンで建築をテーマに据えたコミュニティを作った。ウィリアム・モリスの工芸家村の再来である。タリアセンを始めようとした動機は、帝国ホテルの現場でライトの胸に宿ったものだったと私は思う。  
(文とスケッチ 円満字洋介、乙訓支部)

※博物館明治村/愛知県犬山市、フランク・ロイド・ライト設計、日本土木会社施工、1923年竣工(1970年解体、1985年移築竣工式、西尾雅敏(明治村)移築設計、鹿島建設施工)  
ヴァファール水彩紙粗目F4、グラフィックペン0.5、固形透明水彩、2022.05.14スケッチ



## 編 集 後 記

新年あけましておめでとうございます。昨年も年末に大きな火災が国内では大分で海外では香港で起こりましたね。何れも火災原因のはっきりしたことは、この記事執筆中には判明していません。

何時、何処でこの様な火災や事故に会う又は巻き込まれるかわかりませんので日々の注意・準備が必要だと思います。

話を変えて、お節料理やお正月特有の豪華な? 料理を食べ過ぎて、身体が重く硬くなってませんか? 手取り早くというのは無理ですが、少しずつ確実に効果をあげられる呼

吸法をご存じですか? 胸式呼吸? 腹式呼吸? と思い浮かべる方が多いかと思います。

間違いではありません。が、もっと簡単な事です。鼻から息を吸って鼻から息を吐く。いわゆる鼻呼吸です。これは、基礎代謝をあげて免疫力を向上させるのに効果的と言われています。さらにダイエット効果にもなるドローインや深呼吸という寝ながらでも行える呼吸法などもあります。スポーツやヨガなどをされてる方でしたら更に多くの呼吸法をご存じかも知れません。自分に合った正しい呼吸法で身体を整えて新しい年を過ごしていきましょう。

(岩村 和男)

○発行 令和8年1月1日  
○発行所 一般社団法人 京都府建築士事務所協会  
〒603-8163

京都市北区小山南大野町1番地 紫明会館1階

TEL 075-334-5277 FAX 075-334-5377

<https://www.kyoto-kenchiku.com/>



○編集人 編集長 堀井里見  
編集委員 石井克憲、木下一盛、田中祐介  
野間洋平、岩村和男、小峠圭三  
木村 智、岡本順子

○印刷所 株式会社ティ・プラス